

【練馬区】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

< 国の指針に基づく胃がん検診の実施状況 >

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胃部X線検査)	している

< 住民の検診受診状況 >

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	189,583	208,122	397,705
【東京都調査による対象者率(区部): 60.5%】			
実際の受診者数	8,331	10,171	18,502

< 国の指針に基づくもの以外の実施状況 >

対象年齢以外の実施	30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

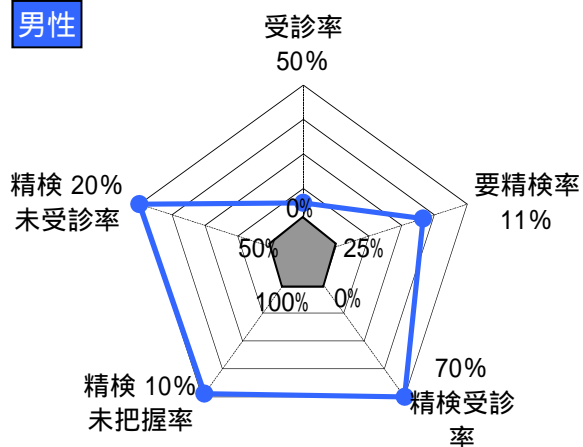
< 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 >

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

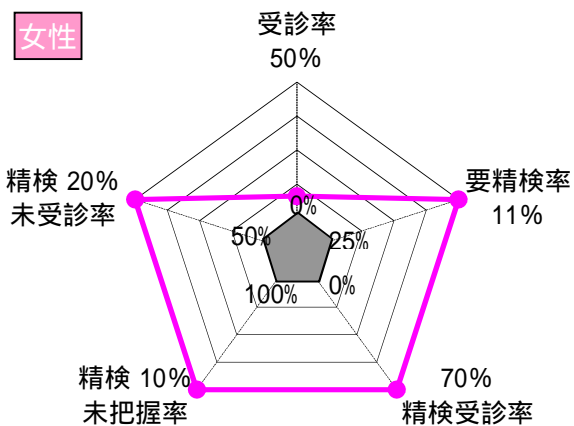
< がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) >

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	7.3%	8.1%	7.7%
要精検率	11%以下	15.7%	10.6%	12.9%
精検受診率	70%以上	84.7%	89.3%	86.8%
精検未把握率	10%以下	12.6%	9.6%	11.3%
精検未受診率	20%以下	2.7%	1.1%	2.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.5%	1.1%	1.3%
がん発見率	0.11%以上	0.24%	0.12%	0.17%

男性



女性



【評価結果】

< 受診率 >

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

< 要精検率 >

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

< 精検未把握率 >

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【練馬区】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	189,583	208,122	397,705
【東京都調査による対象者率(区部): 66.6%】			
実際の受診者数	11,798	14,138	25,936

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

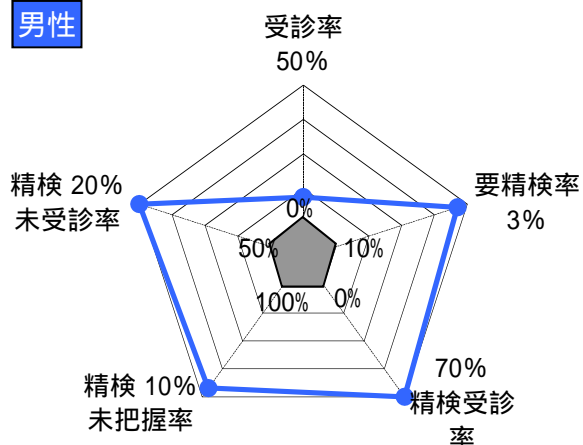
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

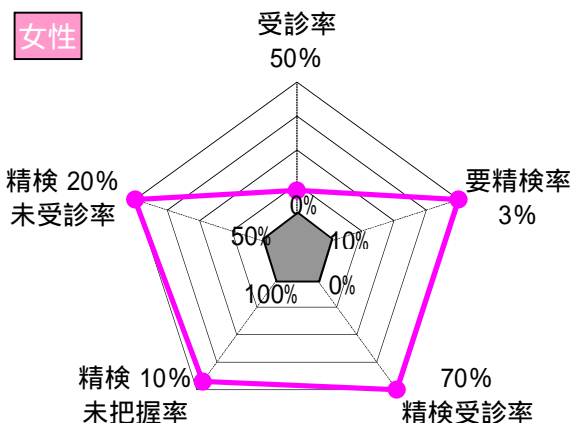
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	9.3%	10.2%	9.8%
要精検率	3%以下	3.5%	2.4%	2.9%
精検受診率	70%以上	78.8%	79.8%	79.3%
精検未把握率	10%以下	17.1%	16.7%	16.9%
精検未受診率	20%以下	4.1%	3.5%	3.8%
陽性反応適中度	1.3%以上	1.9%	0.9%	1.5%
がん発見率	0.03%以上	0.07%	0.02%	0.04%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一步です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【練馬区】大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	189,583	208,122	397,705
【東京都調査による対象者率(区部): 66.3%】			
実際の受診者数	22,528	36,492	59,020

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	30~39歳
左記以外の検査の実施	していない

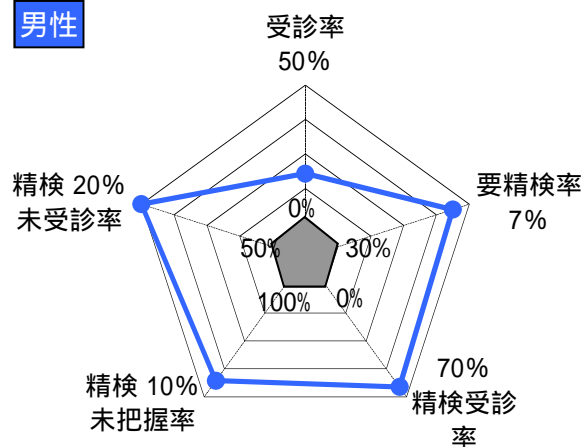
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

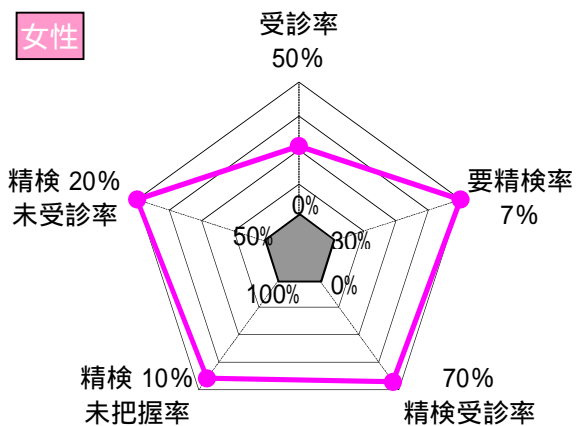
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	17.9%	26.4%	22.4%
要精検率	7%以下	9.9%	6.9%	8.1%
精検受診率	70%以上	63.8%	65.0%	64.4%
精検未把握率	10%以下	23.0%	19.2%	21.0%
精検未受診率	20%以下	13.2%	15.8%	14.6%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.9%	2.9%	3.4%
がん発見率	0.13%以上	0.39%	0.20%	0.27%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【練馬区】子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢(20歳以上:隔年)	している
検査方法(細胞診)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		306,988	
【東京都調査による対象者率(区部): 63.7%】			
実際の受診者数		22,703	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

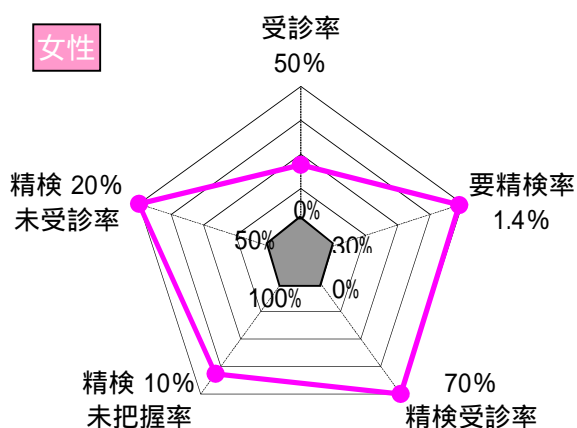
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.2%	
要精検率	1.4%以下		2.1%	
精検受診率	70%以上		71.2%	
精検未把握率	10%以下		26.5%	
精検未受診率	20%以下		2.3%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.3%	
がん発見率	0.05%以上		0.05%	

【評価結果】



<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【練馬区】乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上:隔年)	している
検査方法(視触診及びマンモグラフィ)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		208,122	
【東京都調査による対象者率(区部):72.3%】			
実際の受診者数		17,062	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

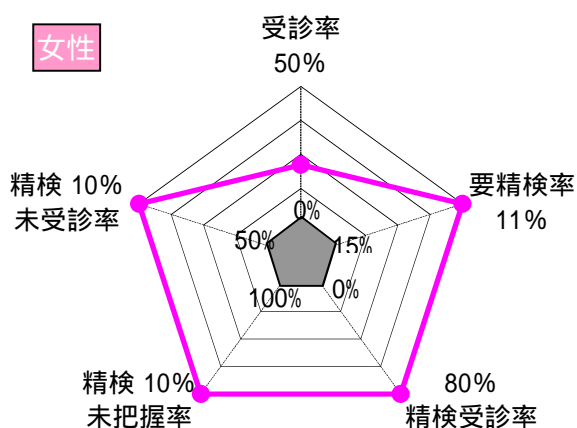
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.2%	
要精検率	11%以下		9.5%	
精検受診率	80%以上		94.6%	
精検未把握率	10%以下		3.8%	
精検未受診率	10%以下		1.6%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.1%	
がん発見率	0.23%以上		0.39%	

【評価結果】



<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。